


調査対象物質	分析法フローチャート	備 考
[5]o-クロロトルエン	<p>【水質】</p>  <pre> graph TD A[水質試料 44mL] --> B[バージアンドトラップGC/MS-SIM-EI] C[内標準添加 o-クロロトルエン-d4 1mg/L 5μL] --> A </pre> <p>水質試料 44mL^{注1}</p> <p>内標準添加 o-クロロトルエン-d₄ 1mg/L 5μL^{注1}</p> <p>バージアンドトラップGC/MS-SIM-EI</p> <p><注>次に示す方法を採用した例もあった。 1:水質試料の量を20mLとし、内標準物質の添加量を0.1ngとした。また、測定機器としてGCMS-QP5050A、カラムはRtx-624(60m×0.25mm、1.4μm)を使用した。</p> <p style="text-align: right;">「平成18年度化学物質分析法開発調査報告書」 準拠</p>	<p><分析原理> バージアンドトラップGC/MS-SIM-EI</p> <p><検出下限値> 【水質】 (ng/L) [5] 1.6</p> <p><分析条件> 機器^{注1} LC : HP 6890 MS : Automass Sun PT : Tekmar 4000J カラム HP-17MS^{注1} 30m×0.25mm、0.1μm^{注1}</p>